

# 白浜町 議会だより

No.53

令和元年（2019）8月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



天の川に、どんなお願いしようかな？（とんだ幼稚園 七夕まつり）

## ***CONTENTS***

■ 令和元年第2回定例会	P. 2～3
■ 一般質問	P. 4～11
■ 討論のあった議案	P. 12～13
■ 政務活動費収支報告	P. 14～15
■ 傍聴のご案内	P. 16
■ 町議会・町議会議長の主な動き	P. 17

# ▷▷ 令和元年第2回定例会 (6月4日～6月19日)

## 第1日

### 6月4日【開会、会期の決定、町長挨拶提案理由の説明】

- ・会期の決定
- ・議案の提案理由説明（専決処分の承認3件、条例改正9件、補正予算関係5件、工事請負契約1件、物品購入契約2件、報告7件）
- ・議案審議（議案1件）

## 第2・3日

### 6月17日【一般質問】

- ・丸本議員、松田議員、溝口議員、廣畑議員

### 6月18日【一般質問】

- ・堅田議員、楠本議員、長野議員、正木議員

《P4～P11に内容記載》

## 第4日

### 6月19日【議案審議】

- ・議案審議（議案19件、報告7件）
- ・議員派遣1件
- ・委員会発議案件1件

《討論のあった議案はP14～P15に内容記載》

## □ 条例改正

○白浜町各種基金条例の一部を改正する条例について

森林環境譲与税の使途とされる間伐、人材育成、担い手の確保、木材利用の促進並びに普及啓発等の森林整備及び促進に関する事業を効率的に行うため、関係規定を改正

○白浜町立学校施設使用料条例等の一部を改正する条例について

令和元年10月から消費税の税率が8%から10%へと引き上げられることに伴い、関係規定を改正

○白浜町重度心身障害児（者）医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

和歌山県重度心身障害児（者）医療費補助金交付要綱の一部改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町公衆浴場条例の一部を改正する条例について

町営浴場（白良湯・牟婁の湯）について、利用促進を図るため、年間入浴料を引き下げ

○白浜町営住宅条例の一部を改正する条例について

一部の町営住宅の用途廃止により、町営住宅の戸数に変更が生じたことによる改正

○白浜町給水条例の一部を改正する条例について

老朽化した施設の更新費用及び災害に強い耐震施設への整備費用を確保し、水道水の安定供給と持続可能な水道事業の経営を行うため、新しい水道料金体系を設定する。

また、消費税が引き上げられることに伴い、水道料金への適正な転嫁を行うため改正

○白浜町簡易水道使用条例の一部を改正する条例について

水道水の安定供給と、持続可能な水道事業の経営を行うことを目的として新しい水道料金体系を設定するにあたり、公平性の観点から今まで別々であった簡易水道と上水道の料金体系を統一する。給水装置の種類に関する規定と分担金の規定も統一。また、消費税が引き上げられることに伴い、簡易水道料金へ

の適正な転嫁を行うため改正

○白浜町火災予防条例の一部を改正する条例について

工業標準化法及び住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、関係規定を改正

○白浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、関係規定を改正

□補正予算

○令和元年度白浜町一般会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に2億6千50万円を追加し、歳入歳出予算総額を134億8千250万円とする。主な補正内容は次のとおり。

(単位 万円未満四捨五入)

【総務費】

・電話交換システム更新業務委託料 520万円

・コミュニティ助成事業 250万円

・日置川事務所消防設備整備工事費 160万円

【民生費】

・プレミアム付商品券事業 1億5千万円

【農林水産業費】

・椿はなの湯設備更新工事費 180万円

【教育費】

・小学校空調設備整備工事費 4千558万円

・中学校空調設備整備工事費 2千167万円

□物品購入契約

○消防車両更新事業(白浜第1分団)に係る物品購入

【数量】消防ポンプ自動車 1台

【契約金額】

1千335万9千600円

【契約の相手】

上富田町朝来字里田

1407番地の4

和歌山日野自動車株式会社

田辺支店 支店長 田中 勝則

○浸水対策用発電機購入事業に係る物品購入

【数量】可搬式ディーゼルエンジン発電機 2台

【契約金額】

505万4千400円

【契約の相手】

田辺市稲成町326番地の1

株式会社冷水機械

代表取締役 渡口 眞二

□工事請負契約

○日置中学校校舎耐震改修等工事

【工事場所】

白浜町日置979番地の2

【契約金額】

9千450万円

【契約の相手】

白浜町栄1049番地 SUN 頼・S 平阪 恵智子

▽自治功労者表彰

5月22日に開催されました、和歌山県町村議会議長会第71回定期総会において、議員として11年以上在職し、功労のあった溝口議員が、自治功労者として表彰されましたので、定例会初日の冒頭で伝達式を行いました。



# 令和元年第2回定例会一般質問（登壇順）



丸本 安高 議員  
（一問一答）

- ・ 使用済み核燃料（核のごみ）  
受け入れ拒否の条例の制定について
- ・ 災害対策について

**問** 3月議会で使用済み核燃料（核のごみ）受け入れ拒否条例制定を求める質問をしたが、「受け入れる考えはないと申し上げたところであり、条例制定の必要性はない」との答弁であった。受け入れる考えがないのであれば、受け入れ拒否の条例をなぜ制定できないのか理解に苦しむ。原発再稼働が進み、使用済み核燃料が増えるなか、電力会社は候補地を探している。町の基幹産業は観光であるので、核の施設受け入れ拒否の条例を制定してはどうか。

**答** 中間貯蔵施設や最終処分場について、受け入れる考えはないと表明したところであり、条例制定の必要性はないと考えている。白浜町は観光産業や農林水産業が中心となって発展し、白浜町の将来は、観光産業の進展にかかっていると考えている。中間貯蔵施設に

については、これまで事業者等から何の申し入れもない。町長である私自身が受け入れの協議を行わない以上、町内の土地が候補地として具体化することはないと考えている。

**問** 町の上水道施設には、停電時に備え発電機を設置している。一方、簡易水道

には発電機が設置されていないが、年次計画を立て、設置すべきではないか。

**答** 日置川の増水により浸水した施設では、浸水対策などいくつかの課題もある。国において現過疎法の延長、もしくは新たな過疎法が成立した場合、発電機の設置を事業計画に加え、



（後世に残すべき日置川の豊かな自然）

過疎対策事業債をその財源として活用し設置していきたい。

**問** 大、玉伝地域は日置川河口から約20キロメートルの場所にあり、県道日置川大塔線が通っているが、道路幅が狭く、山腹も険しく、近い将来起きるといわれている南海・東南海地震で集落が孤立することが考えられる。ヘリコプター発着場を確保すべきであると思うが、考えを伺う。

**答** 患者空輸を含め、ヘリコプターの場外発着場の指定には、地権者の了承が必要であるとともに安全上の基準を満たしているかが重要となる。可否については現在、県に依頼している調査結果による。



まつだ たけはる  
松田 剛治 議員  
(一問一答)

## ・高齢者等の移動支援について

**問** 運転に不安がある方が免許返納した場合、移動支援としてどのようなものがあるのか。

**答** 新たな公共交通の空白地を生まない形でのバス路線維持およびタクシー営業所の維持等の生活交通の確保を図っている。また、運転免許返納者に、日置川地域でのコミュニティバスの運賃割引と、町内在住の65歳以上の方等を対象に優待券を交付し、町内路線に限り運賃が半額になる制度がある。

**問** バス運賃割引制度の利用について、利用者ニーズを把握するため、今後どのような対策を考えるのか。

**答** 現在のバス運賃割引制度を継続しながら、地域課題や利用者のニーズに合った制度づくりが必要であると考える。

**問** 移動手段の確保として、タクシー利用割引チケットは考えられないか。

**答** 来年3月末の優待券の更新に併せて、すでに取り組まれている自治体の状況や予算的なことも踏まえ、検討したい。

**問** 地域包括ケアシステムの構築を進めていくうえで、移動支援は重要な位置付けであると考えますが、関係部署との連携についてはどうか。

**答** 関係部署が地域の現状等を共有したうえで、さまざまな視点から課題解決に当たることが大切であるが、現時点では連携できていない。今後、どのように関係部署が連携し、取り組むべきか十分協議したい。

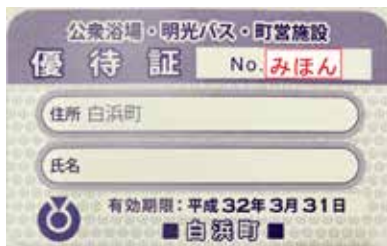
**問** 介護保険制度での介護予防として、買い物とりハ

ピリを組み合わせた支援はできないか。

**答** 地域の方々とともに課題の解決方法を検討するなかで、そうした先進地事例も紹介しながら地域での支え合いの仕組みづくりを支援したい。

**問** バス停留所の廃止に至った所の理由と、地域の不安の声にどう対策をとるのか。

**答** 路線の廃止および利用者の減少により廃止となったものであり、できるだけ地域の要望をお聞きし、現状の把握や要望等の内容の精査した上で運行事業者と



(65歳以上の方等へ発行している路線バス等の優待証)

も協議していきたい。

**問** 自宅から目的地までを結ぶ「ドア・ツー・ドア」方式のような施策はできないか。

**答** ドア・ツー・ドア方式の導入については、町内におけるサービス格差が生じること、目的地が区域内に限定されること、既存の交通路線への影響等課題が多いと考えてる。

**問** 移動支援の今後の課題を地域ぐるみで共有する機会がもてないか。また、高齢になり、運転に不安のある方が、気楽に相談できる窓口はないのか。

**答** 移動支援等、地域課題に対応するには、様々な団体、関係者等に参画していただく必要がある。また、相談窓口には、地域包括支援センターがある。

## ・防災対策について



みぞぐち こうたろう  
溝口 耕太郎 議員  
(一問一答)

**問** 近年の異常気象の影響による局地的な大雨や、台風時の大雨により、富田川の水位が高くなり、付近の民家では、たびたび床下、床上浸水被害が発生している。今回、県は富田川の堆積土砂撤去工事を決定したが、工事決定までの過程と工事区域および工事期間について伺う。

**答** 平成23年の紀伊半島大水害以降、県に富田川の河川整備について要望し、平成30年度に富田川水系河川整備計画が策定され、社会資本整備総合交付金を受けて、富田川河川整備事業として工事着工された。整備区域としては富田川河口から保呂地区上流部までの約6.2キロメートルが計画されており、工事期間は概ね20年の予定である。

**問** 本工事は県工事であるが、工事にかかる庁内の体制はどうか。また、町内の工事区域について、町独自に基本的な考えをまとめるべきと考えるがいかがか。

**答** 平成31年4月23日に富田川流域9区と町で構成する富田川改修促進協議会を発足している。今後は、協議会と連携しつつ、県への要望活動や工事区域、整備方法等も協



(富田川の大井堰付近に堆積している土砂)

議しながら事業促進をはかりたいと考えている。

**問** 富田川は富田平野の農業用水の確保という重要な役割がある。今回の堆積土砂撤去工事と大井堰の改修工事を進めるうえで問題や関連はあるのか。

**答** 近接工事となっているが、県と町の工事はそれぞれ別であるため、大井堰の災害復旧工事を進めるにあたり、関連性はない。災害復旧工事に関しては年内の完成を目指して取り組んでいる。

※このほか、溝口議員は「学童保育について」質問しました。



ひろはた としお  
廣畑 敏雄 議員  
(一問一答)

- ・プラスチックごみ等の回収について
- ・住宅の耐震改修補助金について
- ・学童保育基準の見直しについて

**問** 日本から輸出されるプラスチックごみの輸入が制限され、国内に滞留しているとのことだが、町内の資源回収されたプラスチックごみの状況について伺う。

**答** 容器包装でないプラスチック等を除去したうえで、民間事業者で圧縮梱包した後、製紙工場の熱源として利用いただいております。町から発生しているものについては、滞留することがないと考える。また、その他のプラスチックごみ類は焼却処理している。

**問** プラスチックごみの問題等について、ごみと環境フェアなどで町民啓発をしっかりと取り組んでもらいたいがいかがか。

**答** ごみと環境フェアのイベント等も活用し、ごみ減量や環境保全に関する啓発に努めたい。

**問** 来るべき災害に備えた住宅の耐震診断や、改修の補助制度について伺う。

**答** 耐震診断については木造の場合は平成12年5月以前、非木造の場合は昭和56年以前に建築された住宅が対象となり、補助を受けることができる。また、耐震改修については耐震診断の結果、耐震性が不足すると判断された住宅の耐震補強設計費用と耐震改修費用に対し補助を受けることができる。



(海洋を汚染するプラスチックごみ)

**問** 耐震工事等での補助金の受領について、受領委任制度を創設して、工事費の自己負担分を業者への支払いとなるようできないか。

**答** 住宅の耐震化促進を図るため補助金代理受領制度の導入に向けて検討する。

取り組むのか。

**答** 町の放課後児童支援員の配置基準については、国が「従うべき基準」として定めている配置に基づき、条例で定めており、現状においてこの基準で配置できている。今後も、この基準により支援員を配置できるように努めており、現在のところ、配置基準を見直す等、条例改正を行うことは考えていない。

**問** 放課後児童支援員の研修について、自身の資質向上のため、民間機関等が実施する研修についても参加者へ一部補助が可能か。

**答** 県が行う研修の受講は、公務として取り扱いは、旅費、賃金を支給している。民間機関の受講については承知しており、ありがたいことではあるが、補助という形の支援は困難である。

- ・白浜駅周辺の整備について
- ・公共施設の維持管理について



かたあ 堅田 府利 議員  
(一問一答)



(白浜駅から上富田町方面へ  
向かう道路にある踏切)

**問** 県道田辺・白浜線の白浜駅から上富田町方面へ向かう道路について、上富田町側の区間が整備されたが、踏切周辺の白浜町側の区間についての整備はどのような状況か。

**答** 今年度も引き続き上富田町域の工事を進捗するとともに、令和2年度より白浜街道踏切までの残区間の測量設計を発注していく予定である。

**問** 白浜町内には7カ所の

駐在所と交番があるが、唯一白浜駅前駐在所にはパトロールカーが配備されていない。周辺地区からも要望が出されているようだが、安心安全、また防犯の観点からも町から要望してはどうか。

**答** 県警察本部長あて及び白浜警察署長あてに地元町内会、自治会、各種関係団体等から要望書が提出され、白浜駅前駐在所へのパトロールカー配備について前向きに検討されている。

**問** 公共施設は私たちの生活に深く関係する施設であるが、その多くは昭和の高度経済成長期の人口や観光客の増加に伴い作られてきた施設である。作られてから半世紀経ったものも多く、経年劣化により老朽化し安全や外観に問題が出てきている施設もあるのではないか。

**答** 少子高齢化による人口減少等の社会構造の変化等を踏まえつつ、「白浜町公共施設等総合管理計画」等に基づき、施設の長寿命化や規模の適正化等をはかり、適正な運営管理に努めたい。

**問** 白浜美術館の建物は重厚で、庭園などは綺麗に清掃されているが、いざ館内に入ると、展示場の照明が薄暗く、トイレも男女の出入口に扉がなく、和式便器のみである。また隣接する



(阪田公園内にある白浜美術館)

歓喜神社へのアクセスはバリアフリー化できておらず、スタッフが対応しているとのことだが、これらの施設改修やメンテナンスについて伺う。

**答** 美術館のトイレの出入口は、カーテンの設置により対応しており、洋式化については白浜観光協会とも考えていきたい。指定管理の協定で、施設管理、経費の負担等を決めており、維持管理費、小規模修繕等については白浜観光協会、大規模修繕については町が行うこととなっている。





くすもと たかのり  
楠本 隆典 議員  
(総 括)

## ・富田川左岸、栄、中地区の 地域公共ネットワークについて

**問** 平成24年白浜町生活交通ネットワーク計画や地域公共交通会議のなかにおいて、何が課題であるのか。また、現状バス路線が運行している状況下で、住民の要望に応えるために、解決方法はないのか。

**答** 公共交通の観点では、町内におけるサービス格差が生じること、また、既存の交通路線への影響等の課題がある。公共交通対策とは別に支援を行う必要があると考える。

**問** 日置川地域においては、フリー乗車等、コミュニティバスの形態が改善され、一定の成果があったと思われるが現状どうか。

**答** 新規のバス停設置や場所の変更、路線延長やフリー乗降等、利用者の利便性の向上に努めているところである。今後も検証や改

善等を行いながら、地域の有効な移動手段として確保に努めたい。

**問** 富田川左岸、栄、中地区の交通弱者に対する課題であるが、路線バスが運行している状況下で、住民が不便を感じているが、解決策を示されたい。

**答** 仮に現状の路線バスが廃止された場合、日置川地域において実施しているコミュニティバスのサービスの基本として検討していく



(緩やかに流れる富田川)

必要がある。公共交通におけるサービスの提供は、町内全域で同じように受けられるように努めていく必要がある。地域によって大きくサービスが異なるものは好ましくないと考える。

**問** はまゆう病院の患者送迎バスの富田地域の拡大について、経費負担もあるが、方策がないのか。

**答** はまゆう病院患者送迎について、現在の状況では、経費的にも運行ダイヤの関係でも限界があるが、富田地域の患者送迎の実現に向けて、はまゆう病院とともに検討を進めていきたい。

**問** 辺地対策事業債とは、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準に著しい格差の是正を図ることが目的とされており、日置川地域でも有効な手段として考えていくべき



(日置川地域を運行するコミュニティバス)

だと考えるが、旧白浜町は対象とならないか。また、今後研究していく必要があると思われるが、見解はどうか。

**答** 辺地債については、旧日置川地域において活用できることになっているが、活用に当たっては、対象となる事業を細分化して、計画を策定していかねければならない。今後、関係機関とも協議しながら考えていきたい。

- ・ 消防団員の処遇及び待遇改善について
- ・ 防災について
- ・ ふれあい収集事業について
- ・ 日置川のトイレ事情について
- ・ 交通弱者の移動手段について



ながの そういち  
長野 荘一 議員  
(一問一答)

**問** 消防団員報酬の支給方法について伺う。

**答** 現在は分団に一括して支給しているが、国からの通知や近隣市町村の状況から個人支給への変更も検討していく必要がある。今後は、消防団と協議を行いながら適切に対応していきたい。

**問** 消防団員報酬の値上げと、団員の確保について伺う。

**答** 近隣の市町村の状況等も勘案しながら、今後検討したい。大規模災害団員等も検討し、地域の防災力が低下することのないよう、消防団員確保に努めたい。

**問** 町の避難所、投票所のうち耐震診断を終えていない施設、耐震しなければならぬ施設の対策を伺う。

**答** 対象10施設のうち、工事着手が2施設、事業化を計画が1施設あり、未実施の施設も事業化を図っていきたい。

**問** 富田事務所、日置川事務所、日置川拠点公民館の一次耐震診断結果と今後の方向性について伺う。

**答** 各施設ともに診断結果が判定指標値を満足しないという結果を踏まえ、各施設の所管課と施設整備等の方向性を示していきたい。



(久木区にある小山肆成の顕彰碑)

**問** 今後どのような体制でふれあい収集事業を進めていくのか伺う。

**答** 引き続き、町が直接行っていきたい。今後、超高齢化社会を迎えるにあたり、町民ニーズに対応していけるよう、収集計画の工夫や職員体制等についても検討していきたい。

**問** 小山肆成顕彰公園のトイレ新設についてどのようなことを考えているのか伺う。併せて顕彰公園から市鹿野までのトイレ新設の検討内容を伺う。

**答** 過疎地域自立促進計画の計画期間内に整備をすすめる。トイレ新設については、場所をどこにすべきか、日置川区長会等と協議しながら進める。

**問** 日置小中学校の耐震化工事と並行して、一部トイレの洋式化を進める考えはないか伺う。

**答** 日置小中学校の耐震化工事は、財源として起債を活用していることから、同事業でトイレの洋式化を行うことは困難である。トイレの洋式化の必要性は認識しており、早い時期に取り組む。

**問** 交通弱者と言われる人たちの移動手段の確保と、問題解決に向けた取り組みについて伺う。

**答** 交通弱者の移動手段確保には、地域の実情に沿った施策が必要である。まずは地域においてどのような取組が必要か、地域の方にも積極的に関わりを持っていただきたい。



まさき ひでお  
正木 秀男 議員  
(一問一答)

- ・ 環境問題について
- ・ 防災について
- ・ 観光活性化について



(第23回ごみと環境フェア  
ペットボトルのリサイクルを啓発するコーナー)

**問** ごみの分別化や減量化により焼却施設の長寿命化を図ることができると考えるが、循環型社会形成を目指した取り組みはいかがか。

**答** 廃棄物等の適正な処理を前提としながら、循環資源そのものの地域特性等に

対し、従来からの視点や捉え方を変えることで、これまで未活用であった循環資源を最適な規模で循環させることが重要であると考えられる。これらの考えのもと、国の補助事業内容等も十分研究したうえで、よりよい循環型の地域づくりを目指し、検討を進めていきたい。

**問** 南海・東南海地震にかかる被害想定を受け、町の防災対策はいかがか。また、対策が急がれる地域の防災、減災施設の充足度等現状と今後の計画はいかがか。

**答** 町の津波避難計画に基づき、津波避難困難地域解消対策事業として緊急避難施設、防災行政無線の換装事業等を実施中であるが、一度には事業化できないので来年度末を事業概成目標として順次、進めていきたい。

**問** 昨年発足した南紀白浜観光局では、専門的な人材を生かした新たな仕掛けや観光メニューづくり等が必要と考えるが、今後の取り組みはいかがか。また、白浜観光協会のあり方も含め、検討が必要だと考えるがいかがか。

**答** 現在、南紀白浜観光局には大手旅行会社から専門的知識をもった人材が来ており、新たな体験等の観光関連商品の造成、販売を進めている。白浜観光協会、南紀白浜観光局が一層の連携と、仕事のすみ分けをし、お互いの組織力の強化に努め、一本化の協議をしている。することが必要であると認識している。



## ▷▷ 討論のあった議案



### 》》「白浜町立学校施設使用条例等の一部を改正する条例について」

定例会4日目に、質疑を行った後、廣畑議員から反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数により可決しました。採決の結果と反対討論の要旨は、次のとおりです。

○：賛成 ×：反対	議決結果	堀匠	楠本隆典	南勝弥	西尾智朗	丸本安高	正木秀男	堅田府利	松田剛治	小森一典	水上久美子	辻成紀	廣畑敏雄	溝口耕太郎	長野莊一
議案第36号 「白浜町立学校施設使用条例等の一部を改正する条例について」	可決	○	○	○	/	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※議長（西尾 智朗）は採決に加わりません。



（白浜第一小学校のグラウンドと体育館）

**反対討論要旨（廣畑議員）**  
景気低迷のなか、学校施設等の利用について町民のさまざまな文化に対する取り組みに水を差す。また、施設を利用するさまざまな考え方を持った団体が気軽に利用できる施設として料金設定をしていると思われるが、値上げによって、文化活動が阻害されかねない。今回の消費税増税による住民や利用者への転嫁は認められないと思う。従って、この条例の改正に反対である。

### 》》「白浜町給水条例の一部を改正する条例」

### 》》「白浜町簡易水道使用条例の一部を改正する条例」



定例会4日目に、質疑を行った結果、反対討論を廣畑議員が行い、白浜町給水条例の一部を改正する条例については、賛成討論を溝口議員と長野議員が行いました。起立採決の結果、賛成多数により可決しました。採決の結果と討論の要旨は、次のとおりです。

○：賛成 ×：反対	採決結果	堀匠	楠本隆典	南勝弥	西尾智朗	丸本安高	正木秀男	堅田府利	松田剛治	小森一典	水上久美子	廣畑敏雄	辻成紀	溝口耕太郎	長野莊一
議案第40号 「白浜町給水条例の一部を改正する条例について」	可決	○	○	○	/	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第41号 「白浜町簡易水道使用条例の一部を改正する条例について」	可決	○	○	○	/	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○

※議長（西尾 智朗）は採決に加わりません。

## 「白浜町給水条例の一部を改正する条例」について

### 反対討論要旨 (廣畑議員)

料金改定の経過について、昨年8月に説明があり、町長から水道料金審議会に諮問が出されたのが今年の1月。そして、たった1カ月の審議の期間で第2回目の審議会で30%の値上げが諮問をされた。この間、町当局は町民の意見を直接聞く機会を持ったのか。今後10年以上にわたって影響を及ぼす値上げをこの6月議会で決めるのはあまりにも拙速である。

また、水道施設や設備の更新を計画的に更新していくことに異論はないが、それは収入に見合った形で進めていくべきである。

最後に、政府は今年の10月には消費税の値上げを実施しようとしており、我々の生活に大きな影響が出るのは間違いない。住民の影響を考えると、拙速な値上げを認めるわけにはいかない。

### 賛成討論要旨 (溝口議員)

町の上水道は何十年にわたり、全国で10本の指に入る低料金でこれまで運用してきた。何十年に渡って計画的に事業を遂行してきたなかで、これまで水道料金の値上げをせずに運営してこれたことは、町が将来を見据え、計画的に事業が行われてきた結果であろうかと認識している。

人が生きていくうえで一番重要な水を供給する重要な事業であるため、将来を見据えて計画している。30%の値上げは数字上では確かに大きいかもしれないが、それでもなお、全国的に見ても低料金である。

施設の更新についても、これ以上放置をしていくと、生活に影響があると観点から、年次的に計画し、運用している状況である。以上の理由からこの条例改正に賛成する。

### 賛成討論要旨 (長野議員)

町水道事業は昭和56年以来、消費税増税による料金改定を除き38年間水道料金の値上げを行っていない。現在の水道料金は10立法メートルの家庭用が626円で、30%引き上げても810円となるが、それでも県下平均の1314円を大きく下回り、県下で最も安い市町村と同水準である。

平成初期までは町の水需要が多く、多額の料金収入があったが、今後、給水人口の減少、節水意識の向上により水需要の拡大は見込まれない。一方、水道施設の老朽化対策や、近年多発する自然災害を教訓とした耐震化対策が課題となっている。

水道は日常生活に欠かすことのできない重要なライフラインである。適正な水質の維持に努めるとともに、水道施設の耐震化事業に取り組みなければならぬ。

## 「白浜町簡易水道使用条例の一部を改正する条例」について

### 反対討論要旨 (廣畑議員)

料金を揃えていくことに関して必要かと思うが、全体を通して水道の条例、それから簡易水道と合体をしていくということのなかで、今後10年間どのようなようになっていくかということ懸念をせざるを得ない。

よって、この条例改正について反対する。

(←西富田配水池)

(↓平浄水場機械室)



## ▷▷ 政務活動費の収支状況報告（平成30年度分）

政務活動費とは、「白浜町議会政務活動費の交付に関する条例」によって、議員の調査研究等の活動に必要な経費の一部として交付されるものです。年度当初に議員ひとりにつき、年額18万円を一括交付しています。なお、残余金が生じた場合、返還しなければなりません。

（単位：円）

項目	議員名 堀 匠	楠本 隆典	南 勝弥	西尾 智朗	丸本 安高	正木 秀男	堅田 府利
調査研究費				86,293		11,760	
研修費	151,600	6,000	72,800				151,600
広報・広聴費		29,000					
要請陳情等 活動費				70,140			
会議費							
資料作成費		110,000	36,721		15,000		
資料購入費	44,000	63,762	37,116	37,116	59,395	21,600	36,408
事務所費							
事務費		34,271					
人件費							
その他			63,196		50,165	74,279	
合計	195,600	243,033	209,833	193,549	124,560	107,639	188,008
返還額	0	0	0	0	55,440	72,361	0

項目	議員名 松田 剛治	小森 一典	水上久美子	辻 成紀	廣畑 敏雄	溝口耕太郎	長野 莊一
調査研究費		97,378	135,338	86,293			81,043
研修費	74,800	76,800	26,360				
広報・広聴費					69,979	77,929	
要請陳情等 活動費							
会議費							
資料作成費							
資料購入費			29,364	21,600	37,116	31,544	30,976
事務所費							
事務費					23,036	13,859	
人件費							
その他						65,059	
合計	74,800	174,178	191,062	107,893	130,131	188,391	112,019
返還額	105,200	5,822	0	72,107	49,869	0	67,981


## 政務活動費として支出できる経費（一例）



項目	内容
調査研究費	・議員が行う町の事務、地方行財政等に関する調査研究に要する経費（調査にかかる交通費、宿泊費等）
研修費	・議員が行う研修会、講演会等の実施に要する経費 ・団体等が開催する研修会、講演会等への参加に要する経費（研修会参加にかかる会費、交通費、宿泊費等）
広報・広聴費	・議員が行う活動の広報、広聴活動に要する経費（資料等の印刷製本費、会場費等） 
要請陳情等活動費	・議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費（要請陳情等にかかる交通費、宿泊費等）
資料購入費	・議員活動のために必要な図書、資料等の購入、利用に要する経費（書籍購入費や新聞購読料“2紙目以降”等）



## 政務活動費として支出できない経費（一例）

項目	内容
交際的経費	・祝金、香典、寸志等の冠婚葬祭や祝賀会への出席に要する経費 ・病気見舞、弔電、年賀状および時候の挨拶等に要する経費
選挙活動等に関する経費	・選挙運動および選挙活動に要する経費 ・各種団体への支援依頼活動経費、選挙ビラ作成等に要する経費 ・後援会活動に要する経費
私的な活動に関する経費	・私的な旅行、観光に要する経費 ・議員が個人的に参加している団体の会費や会合への参加費
飲食に関する経費	・飲食を主目的とする会議出席費用 ・各種団体等の会食だけの参加費 
その他	・挨拶やテープカットだけの式典等への出席に要する経費 ・社会通念上、妥当性を超える経費

## ▷▷ 傍聴のご案内

傍聴は、議員の活動や町長の考え、町政の方針を知る最も身近な方法です。簡単な手続きで傍聴ができますので、ぜひ傍聴にお越しください。

### 》》 手続き

傍聴席入口の傍聴人受付票に、住所、氏名を記入し、傍聴人受付票入に入れてください。傍聴人数が傍聴席数を超えることが予想される場合は、傍聴券を発行することがあります。



(傍聴人受付票入と傍聴人受付票)

### 》》 傍聴席

○議場の傍聴席は、一般席20席、記者席5席です。傍聴席には限りがありますので、先着順とさせていただきます。

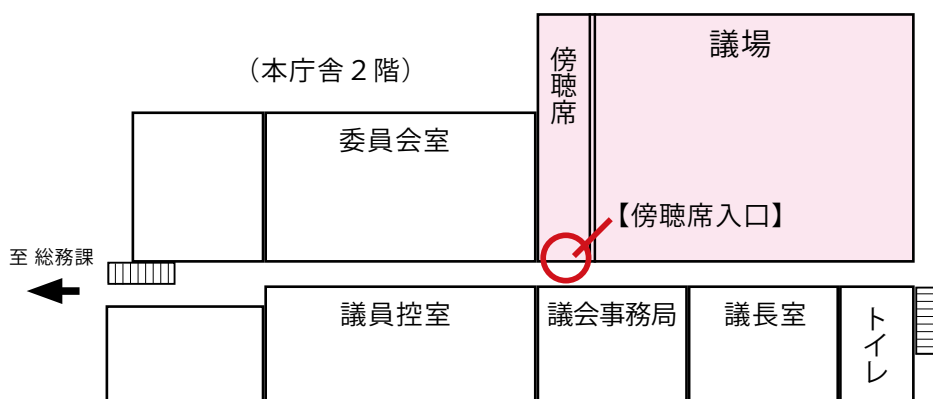
○白浜町ホームページで、本会議の録画配信を行っています。傍聴席が背景の一部として映りますので、ご了承のうえ傍聴をお願いします。

○傍聴席に空きがない場合、録画映像に映りたくない場合は、議場隣の委員会室にて音声のみお聞きいただけます。

○審議やほかの傍聴者の妨げにならない範囲で、会議中の入場や途中退席をすることができます。



(傍聴席)



ご不明な点は、  
議会事務局で  
お聞きください。





## ▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き (4月～6月)

4月1日	阪田祭祀遺跡式典
5日	保育園・幼稚園入園式
8日	小・中学校入学式
9日	議会広報特別委員会
12日	第30回白浜町美術家協会展
15日	全員協議会
21日	交通指導員会総会
22日	南紀白浜水産資源流通促進協議会総会
26日	環境保全協議会総会
27日	「わかやま森林と樹木の日」記念式典
5月3日	白良浜清掃、海開きイベント
11日	春の全国交通安全運動出陣式
12日	津波救命艇設置式典
19日	日置川町商工会通常総会 第6回南紀白浜トリアスロン大会
20日	西牟婁郡町村議会議長会総会
21日	全員協議会 総務文教厚生常任委員会

22日	県町村議会議長会定期総会
23日	ねんりんピック紀の国和歌山 2019白浜町実行委員会総会
24日	入学就学奨励金審査委員会
25日	白浜コスモスの郷フェスタ
26日	第51回砂まつり大会 椿わがら祭り
28日	議長・副議長研修会(東京都)
29日	議会運営委員会
31日	英霊顕彰会理事会
6月1日	献湯祭
4日	第2回定例会第1日 全員協議会
14日	暴力団追放協議会総会
17日	第2回定例会第2日 議会運営委員会
18日	第2回定例会第3日
19日	第2回定例会第4日 議会運営委員会
25日	生活安全推進協議会総会
28日	交通安全対策推進協議会総会

## ▷▷ 活動報告

### ▶ 令和元年度町村議会議長・副議長研修会

5月28日、東京国際フォーラムにおいて、町村議会議長・副議長研修会を開催されました。白浜町議会からも議長・副議長が参加し、議員報酬のあり方や政務活動費の透明性など、多岐にわたる研修を行いました。



## 次回日程

次回定例会（9月）の会期は、  
9月3日（火）から19日（木）までの予定です。

日	月	火	水	木	金	土
	8/26	8/27 議会運営委員会 10:00~	8/28	8/29	8/30	8/31
1	2	3 開会日 第1日 提案説明等 10:00~	4 (休会) 議案調査のため	5	6	7
8	9 (休会)	10	11	12 第2日 一般質問 10:00~	13 第3日 一般質問 10:00~	14
15	16	17 (休会)	18 第4日 議案審議 10:00~	19 閉会日 第5日 議案審議 10:00~	20	21

9月議会の日程は、8月27日（火）開催予定の議会運営委員会で決定します。  
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

## 編集後記

土用丑は7月27日。近年、鰻は中国産も高く、なかなか口には入りません。海水浴も土用波には気をつけねばと思いますが、今年も台風、豪雨の季節がやって来ました。

中央防災会議は、南海トラフ地震の最新被害想定を前よりも低く発表しました。人々の災害に対する意識の向上により、事前対応が進んだとのこと。先日、防災情報の伝え方の変更がありました。「警戒レベル4」で全員避難とのこと。

6月議会で内ノ川への排水ポンプ用発電機を2台購入する議案を可決しました。これによって近年幾度となく繰り返されてきた地域小河川の氾濫によって住宅や工場等への浸水が緩和され、ある程度は住民の命と財産を守ることができるのかと思いますが、いつでも早く可動できるように準備と対策をしなければと思います。（廣畑）

## お知らせ

白浜町議会ホームページでも、会議日程をご覧になれます。また、直近の本会議の録画配信や本会議の会議録等も発信しています。

〈白浜町議会ホームページ〉

<http://www.town.shirahama.wakayama.jp/gyousei/gikai/index.html>



### 議会広報特別委員会

委員長 南 勝弥  
副委員長 小森 一典  
委員 正木 秀男 松田 剛治  
水上久美子 廣畑 敏雄

町議会に関する情報は  
「議会ホームページ」へ

